

上尾市

男女共同参画に関する市民意識・実態調査
報告書



令和7年3月
上尾市

調査の概要

1. 調査実施の目的

この調査は、上尾市男女共同参画に関する市民の意識や実態を総合的に把握し、令和8年度に予定されている第4次上尾市男女共同参画計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の対象

市内に居住する満18歳以上の男女（住民基本台帳から無作為抽出）

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配布—郵送回収またはインターネット回収

調査期間：令和6年10月21日（月）～11月8日（金）

発送数：2,000件

回収数：551件（有効回収率：27.6%）

・郵送回収：388件（有効回収率：19.4%）

・インターネット回収：163件（有効回収率：8.2%）

回収状況：

年代	人口（人）			対象者数（人）			回収数（人） （回収率：%）				
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	その他	どちらにも当てはまらない
18～19歳	4,110	2,088	2,022	47	24	23	1 (2.1)	0 (-)	0 (-)	0	1
20～24歳	11,583	5,694	5,889	132	65	67	22 (16.7)	7 (10.8)	14 (20.9)	1	0
25～29歳	12,106	6,046	6,060	138	69	69	20 (14.5)	6 (8.7)	14 (20.3)	0	0
30～34歳	12,581	6,503	6,078	144	74	70	31 (21.5)	9 (12.2)	22 (31.4)	0	0
35～39歳	13,085	6,768	6,317	150	78	72	42 (28.0)	18 (23.1)	24 (33.3)	0	0
40～44歳	14,298	7,478	6,820	163	85	78	42 (25.8)	13 (15.3)	28 (35.9)	1	0
45～49歳	16,584	8,577	8,007	190	98	92	51 (26.8)	20 (20.4)	29 (31.5)	2	0
50～54歳	20,170	10,351	9,819	231	119	112	57 (24.7)	19 (16.0)	37 (33.0)	0	1
55～59歳	16,710	8,480	8,230	191	97	94	59 (30.9)	26 (26.8)	31 (33.0)	2	0
60～64歳	13,120	6,719	6,401	150	77	73	51 (34.0)	19 (24.7)	32 (43.8)	0	0
65～69歳	11,950	5,949	6,001	137	68	69	45 (32.8)	19 (27.9)	26 (37.7)	0	0
70歳以上	28,608	13,060	15,548	327	149	178	128 (39.1)	59 (39.6)	69 (38.8)	0	0
不明	-	-	-	-	-	-	2	0	0	0	0
合計	174,905	87,713	87,192	2,000	1,003	997	551 (27.6)	215 (21.4)	326 (32.7)	6	2



4. 調査項目調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が3未満の場合、回答の傾向をみるにあたり、十分な母数に達さなかったため、報告書中のグラフにおいて掲載を行っていない。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。回答者数の少ない問については、表で示し、コメントも件数で記述している箇所がある。
- ・今回の調査では、性別に関する問いの回答に、「回答しない」「どちらにも当てはまらない」を設けた。これは、性自認が異なる方や、はっきりしていない方が回答に困らないために設けたものである。
- ・掲載している国（内閣府）の調査結果は、内閣府が令和4年度に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」及び令和5年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」である。
- ・掲載している埼玉県の結果は、埼玉県が令和2年度に実施した「男女共同参画に関する意識・実態調査」である。

5. 素集計結果の信頼度

上尾市の18歳以上の人口（約17万5千人）における統計結果の信頼度について、統計学としては母集団で400件程度あればよいため、信頼度は確保されている。

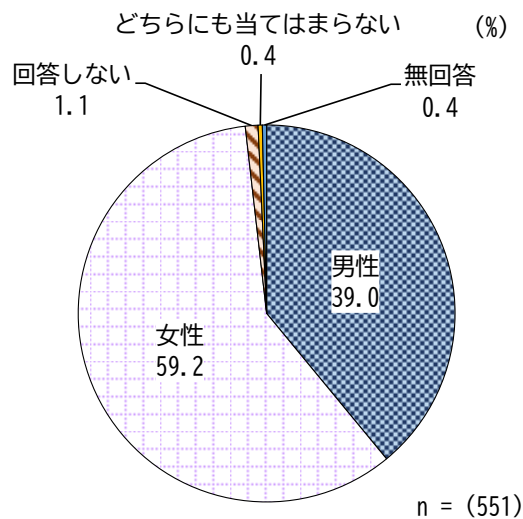
但し、性別・年代別でみた回収数（有効回答率）には偏りがあるため、性別・年代別でのクロス集計で結果を示し、幅広く意見をまとめている。



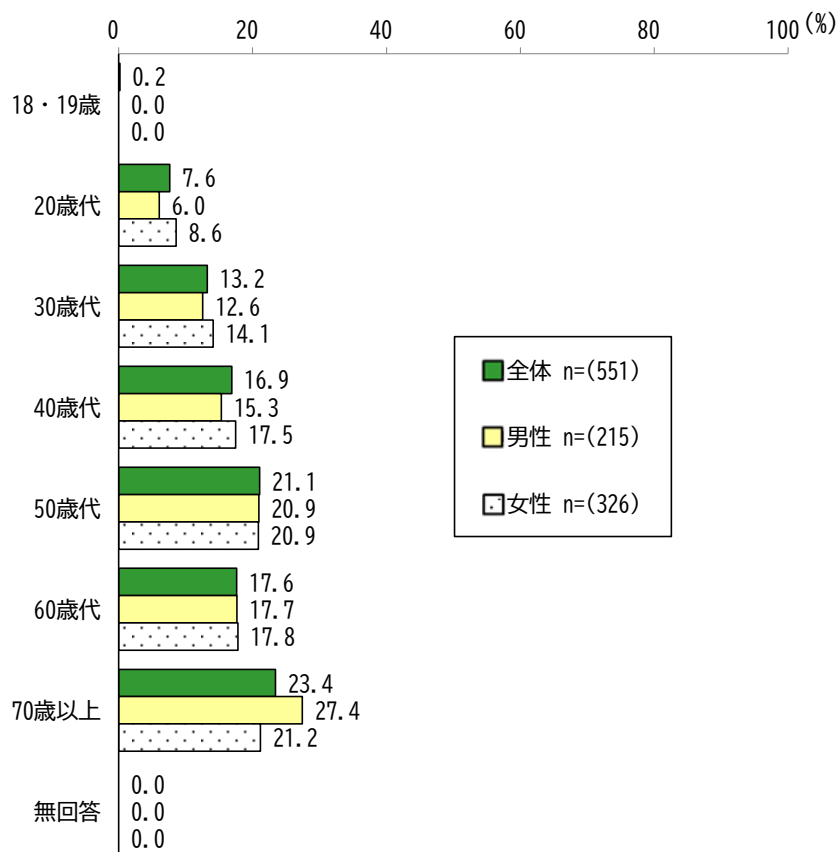
調査結果（抜粋）

回答者の属性

（１）性別



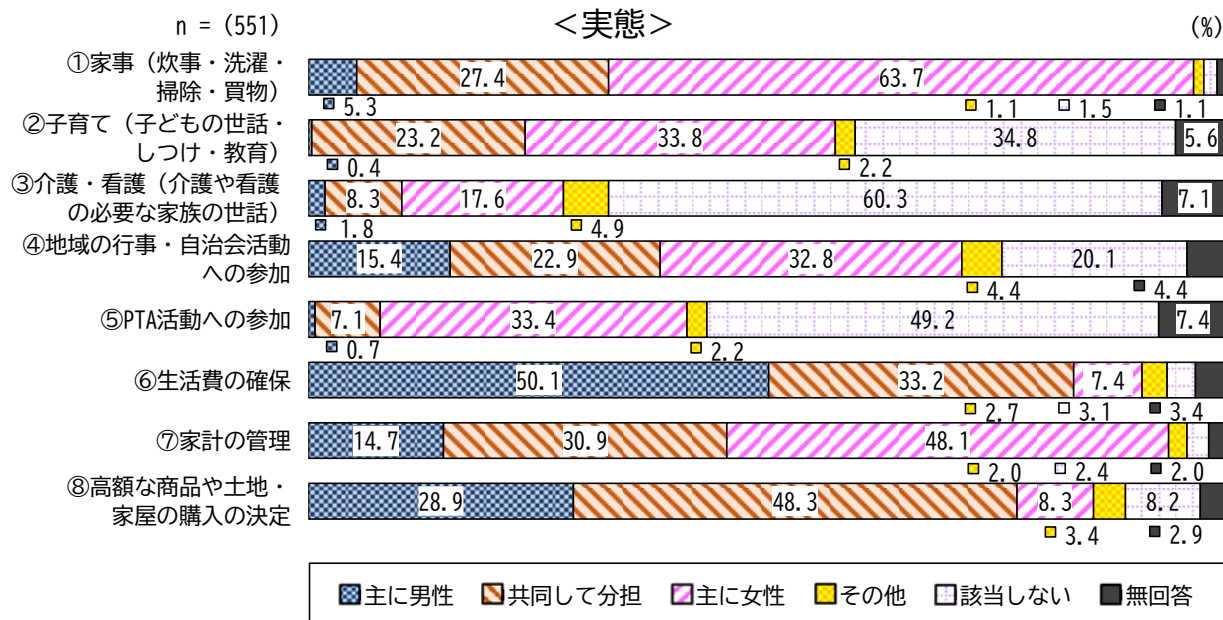
（２）年齢



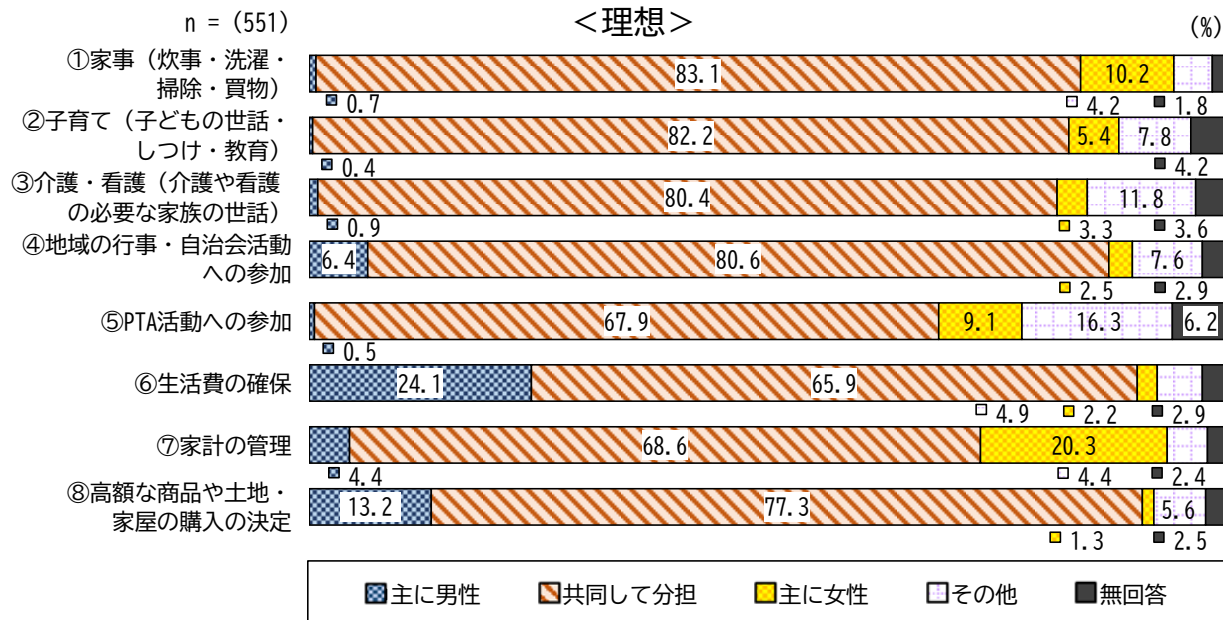
生活環境について

(1) 家庭生活における役割分担（実態と理想）について

→ あなたの家庭では次のことについて、主に男性、女性どちらが行っていますか。①～⑧の項目でそれぞれ○は1つだけ



→ あなたは、次のことについて、どのように担うほうがよいと思いますか。①～⑧の項目でそれぞれ○は1つだけ



家庭生活における役割分担の実態について、「共同して分担」は『高額な商品や土地・家屋の購入の決定』が4割台となっており、次いで『生活費の確保』『家計の管理』が3割台となっている。「主に女性」は『家事』が6割台となっている、一方で、『生活費の確保』は「主に男性」が5割台となっている。

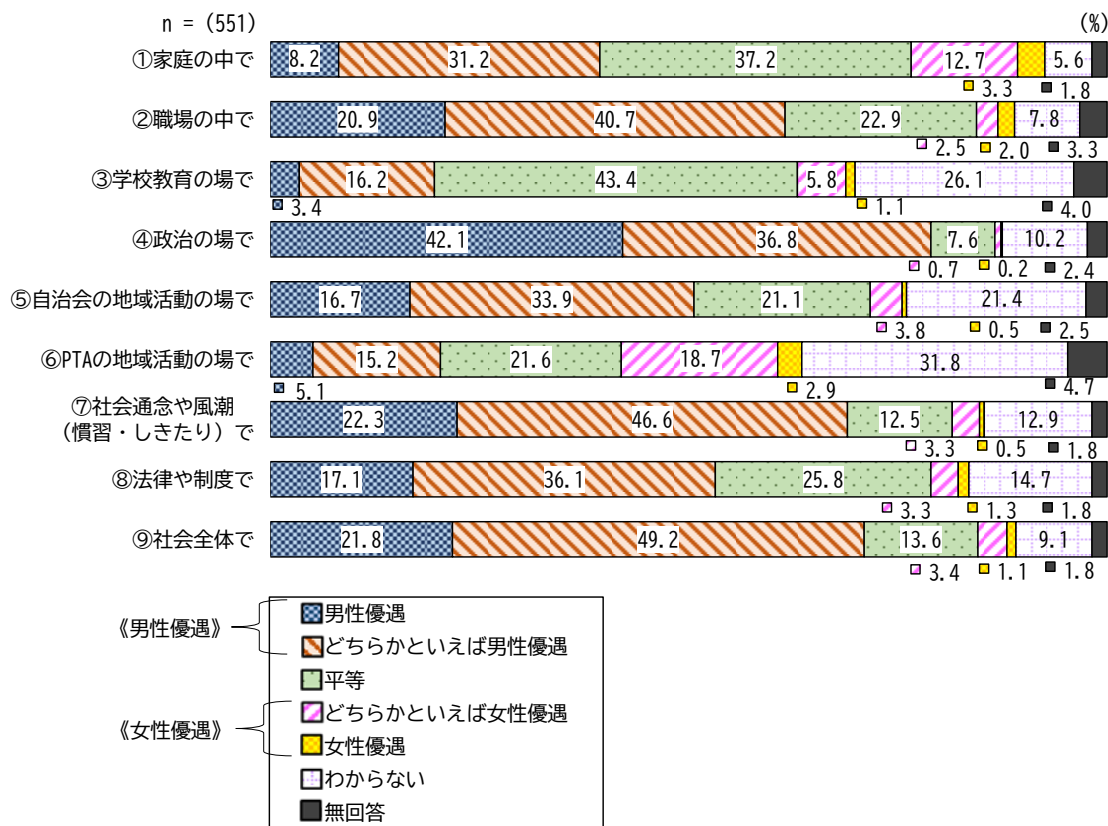
また、家庭生活における役割分担の理想について、「共同して分担」はすべての項目で6割以上となっている。



男女平等に関する意識について

(1) 男性と女性の地位の平等感について

→ あなたは、次のことについて、どのように担うほうがよいと思いますか。
①～⑧の項目でそれぞれ○は1つだけ



各分野での男性と女性の地位の平等感について、「男性優遇」と「どちらかといえば男性優遇」をあわせた《男性優遇（以下同様）》は、『職場の中で』『政治の中で』『自治会の地域活動の中で』『社会通念や風潮（慣習・しきたり）で』『法律や制度で』『社会全体で』で5割以上となっている。また、女性のほうが男性より、《男性優遇》であると感じている傾向がみられる。

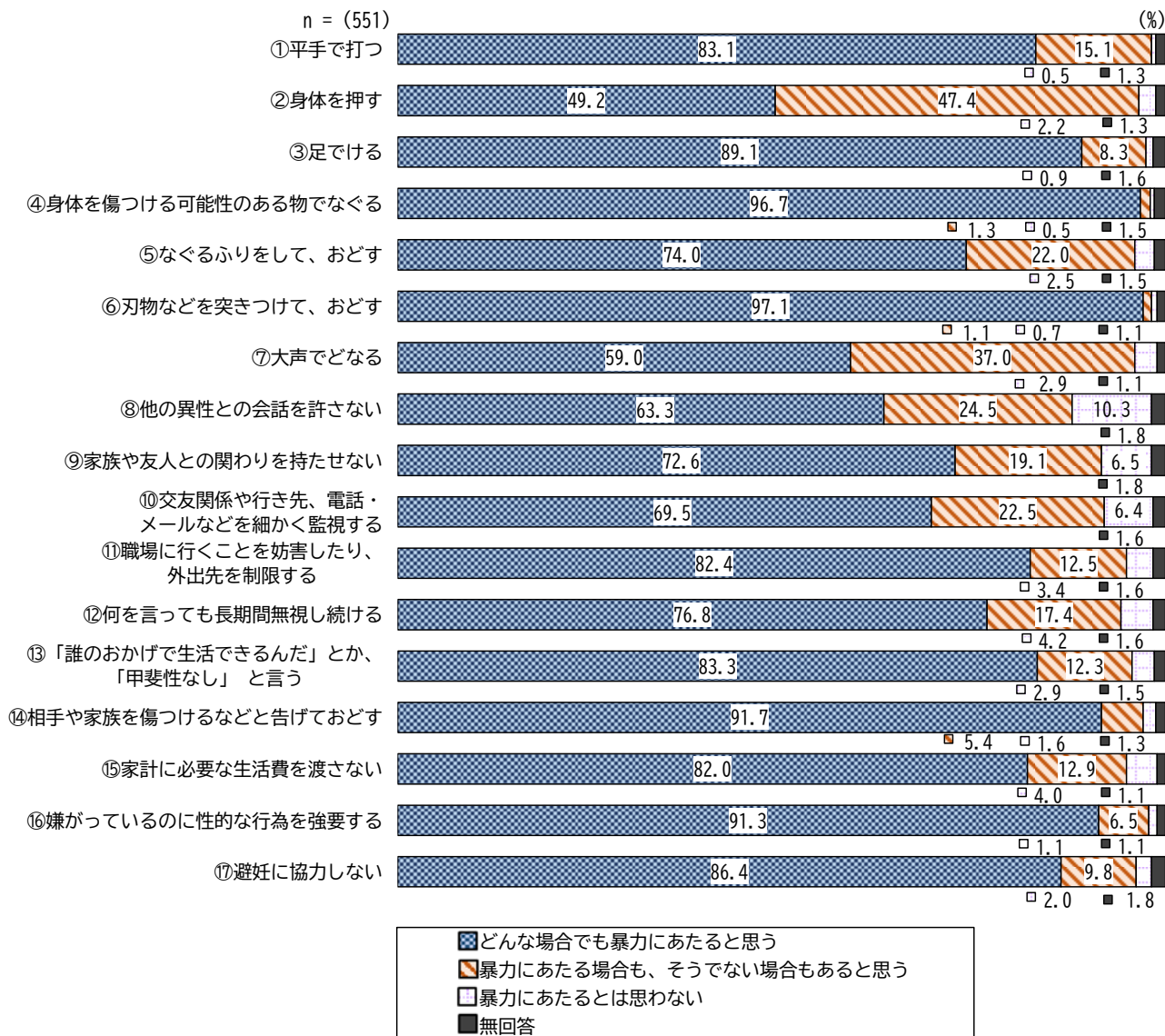
経年においても、《男性優遇》であると感じている割合は『職場の中で』『政治の中で』『自治会の地域活動の中で』『社会通念や風潮（慣習・しきたり）で』『法律や制度で』『社会全体で』で、令和2年度調査より令和6年度調査が上回っている。

人権について

(1) 配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について

→ あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。①～⑰の項目でそれぞれ○は1つだけ

※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。



配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、『刃物などを突きつけて、おどす』『身体を傷つける可能性のあるものでなぐる』『相手や家族を傷つけるなどと告げておどす』『嫌がっているのに性的な行為を強要する』が9割台となっている。一方で、『身体を押す』が約5割と最も少なくなっている。

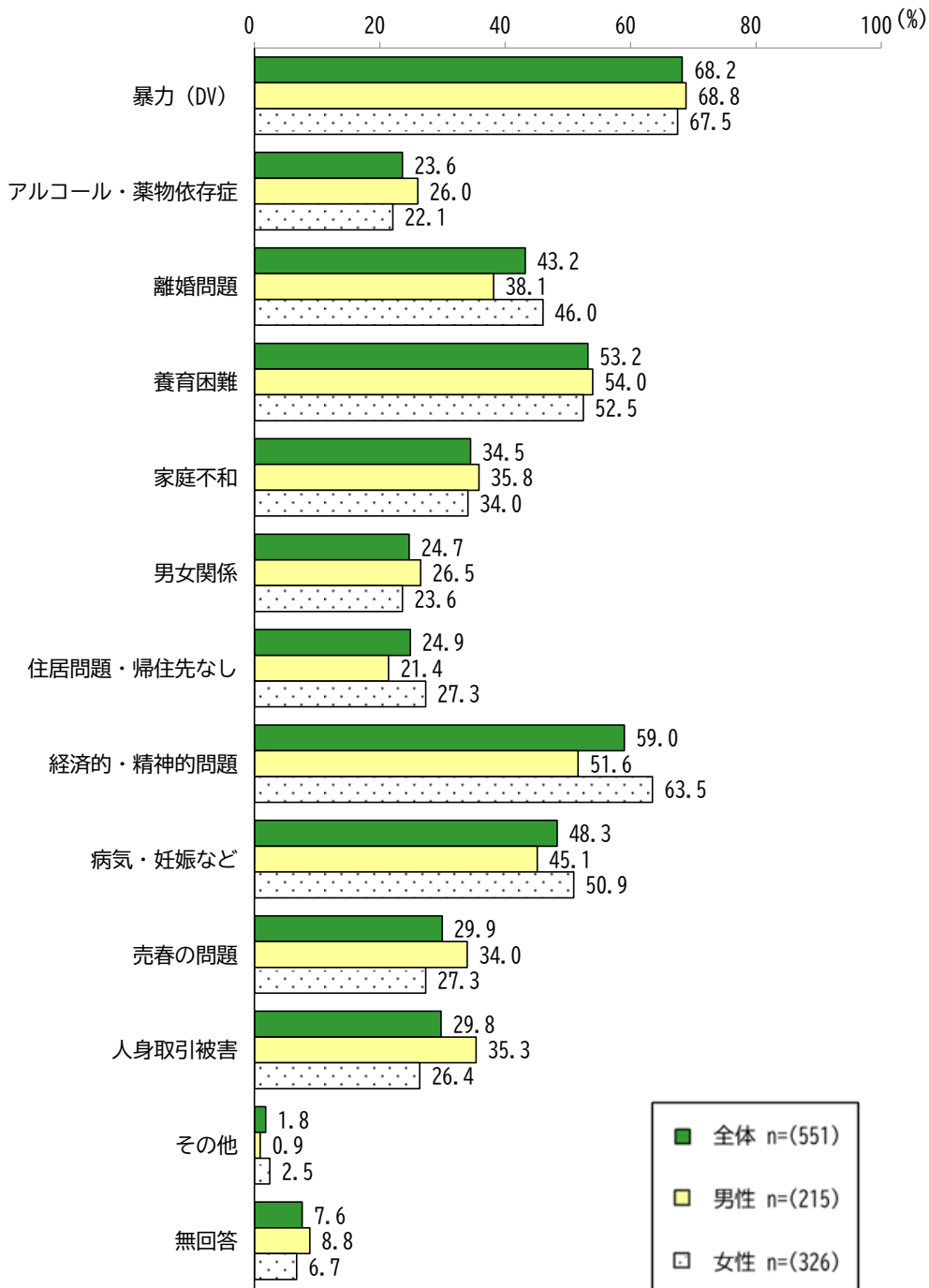
国の調査と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、17項目のうち11項目で、上尾市が国を下回っている。



困難女性支援法について

(1) 困難女性支援法で重要だと思う項目について

→ あなたが、女性の抱える困難な問題であると思うことは何ですか。
○はいくつでも

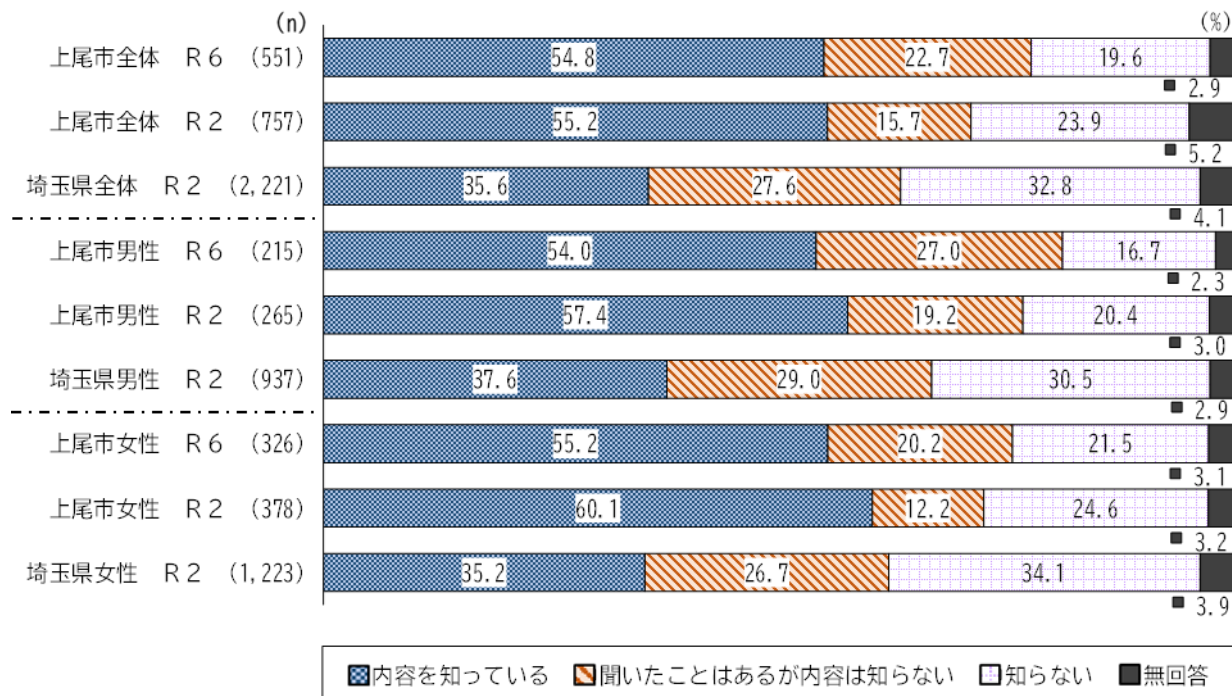


女性の抱える困難な問題であると思うことについて、「暴力 (DV)」は約7割と最も多く、次いで「経済的・精神的問題」が約6割となっている。

(1)「LGBTQ」という言葉の認知度



あなたは、国や地方自治体、関係機関が困難な問題を抱える女性への支援として重点的に取り組むべき項目は、何だと思えますか。○は3つまで



「LGBTQ」について、「知っている」は男女ともに5割台となっている。

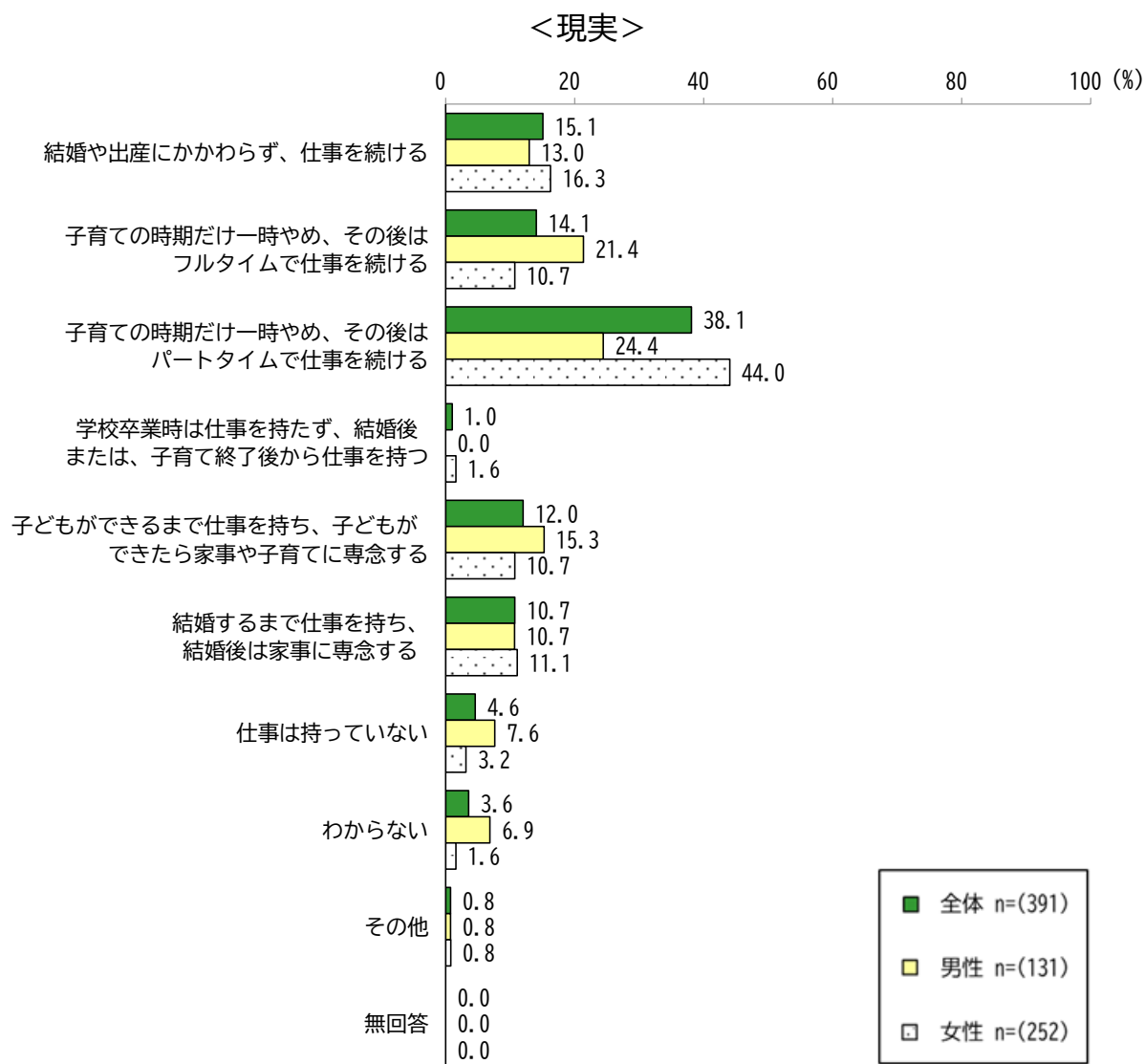
埼玉県の調査と比較すると、「知っている」は全体・男性・女性いずれも上尾市が埼玉県を上回っている。



就業について

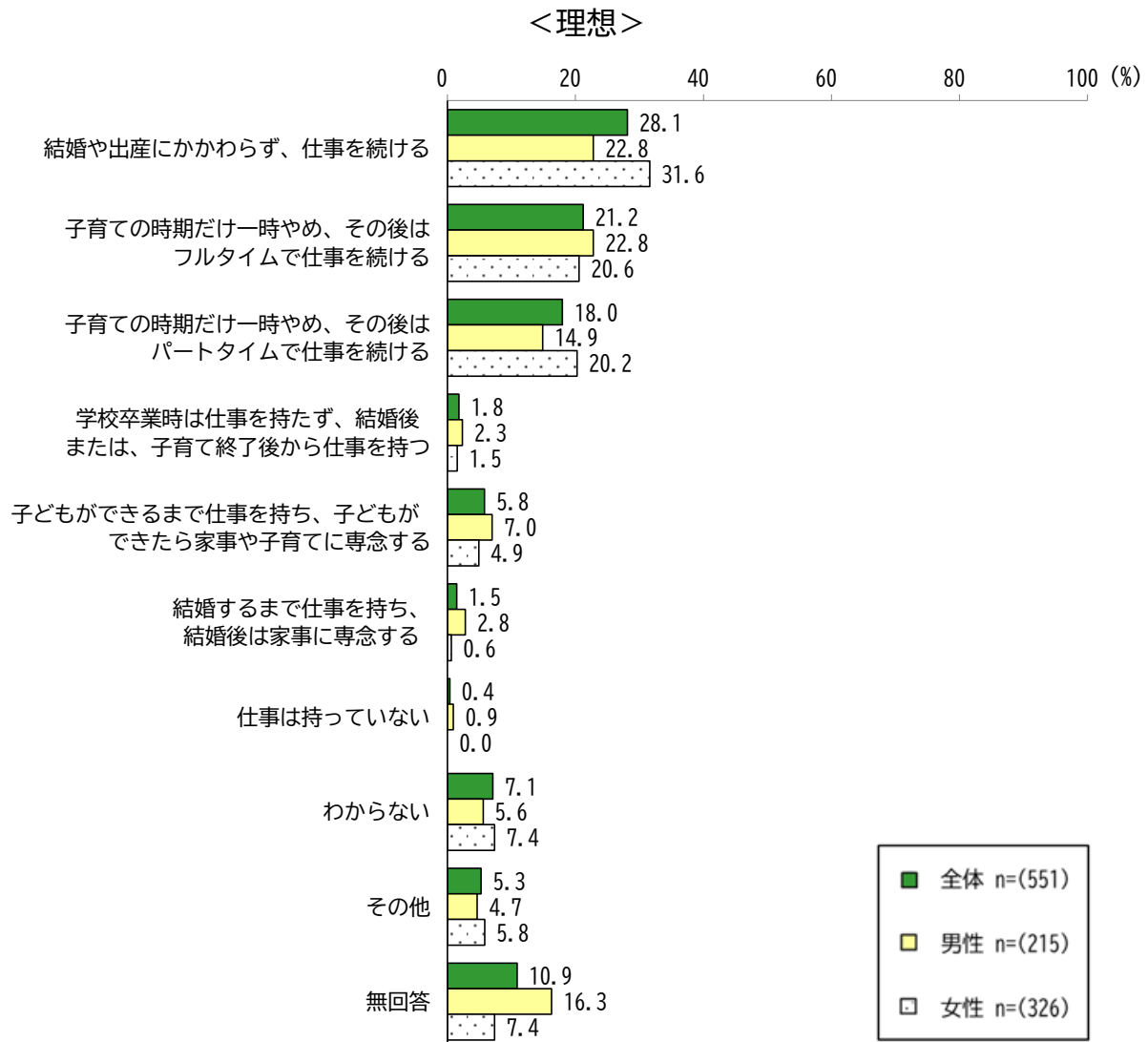
(1) 子育てにかかる女性の働き方についての現実と理想

➔ 子育てにかかる女性の働き方について、現実はどうな状況ですか（でしたか）。





子育てにかかる女性の働き方について、理想はどうあればよいと思いますか。
○は1つだけ



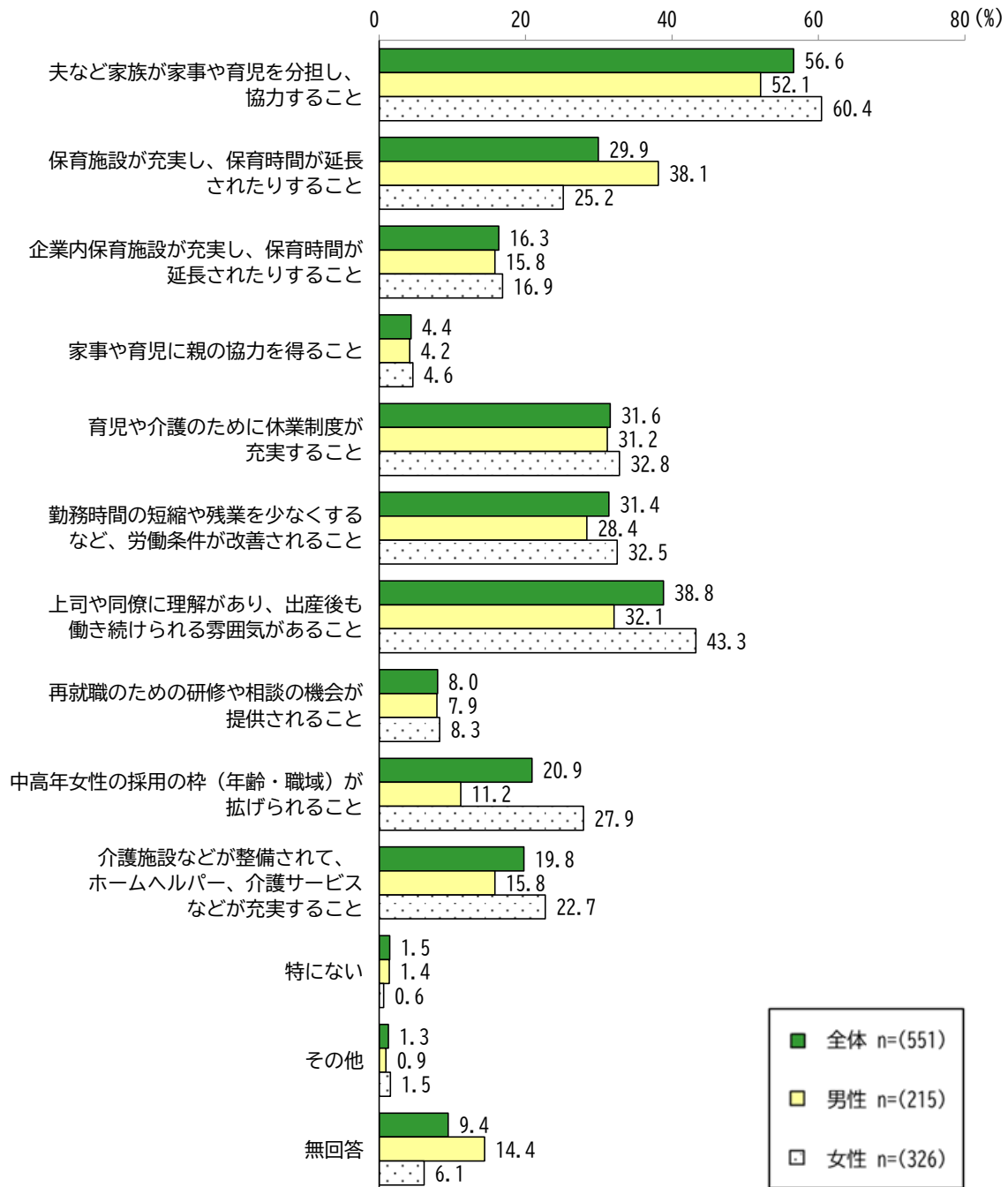
子育てにかかる女性の働き方の現実について、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は全体で3割台と最も多く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」が1割台となっている。男性・女性ともに「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が最も多くなっているが、理想としては、女性は「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」が3割台と最も多く、男性は「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が2割台となっている。



(2) 女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと



女性が働き続ける、または再就職するために特に必要だと思うものは何ですか。○は3つまで



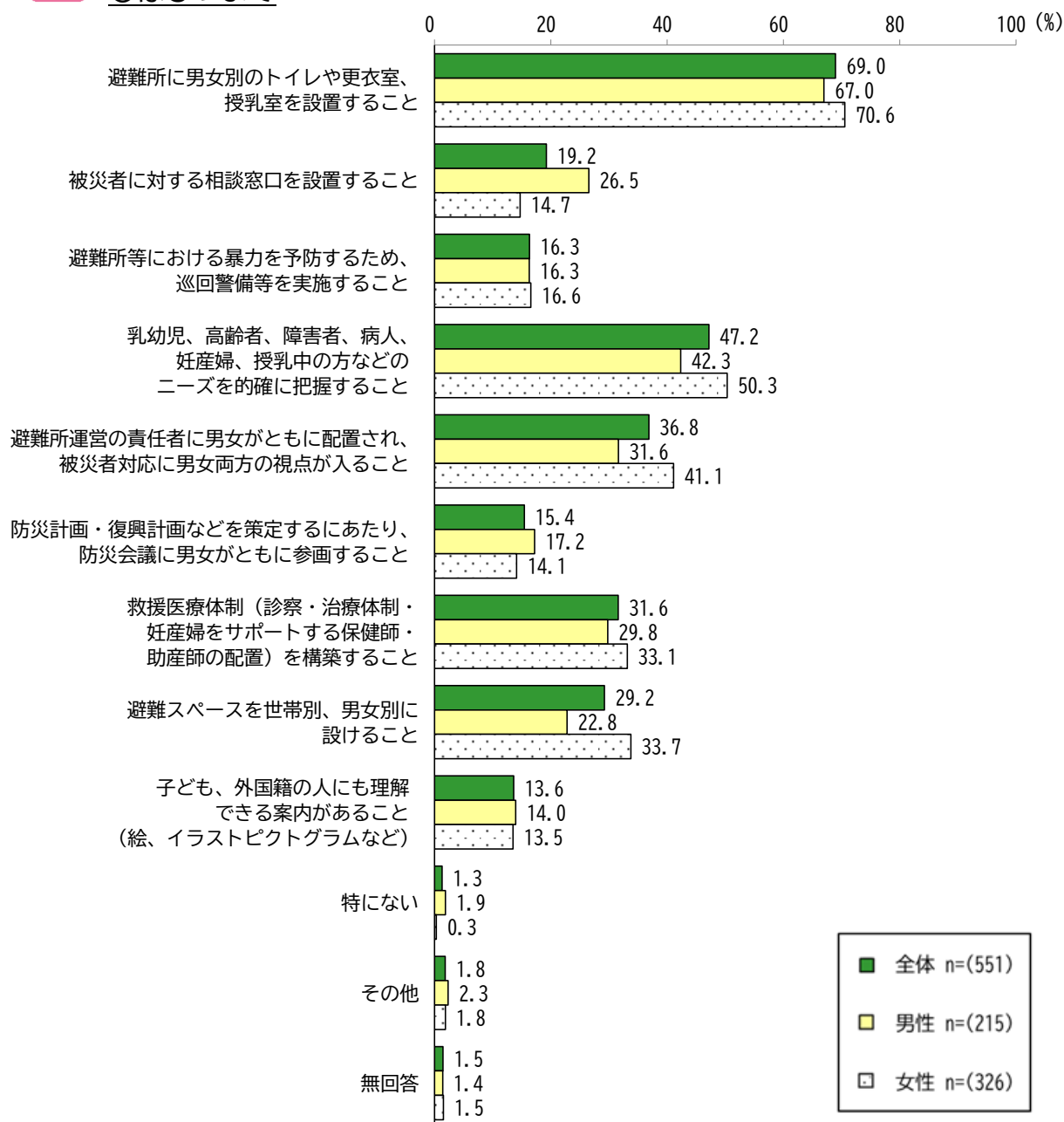
女性が働き続けたり、再就職するために必要なことについて、「夫など家族が家事や育児を分担し、協力すること」が全体で5割台と最も多く、次いで「上司や同僚に理解があり、出産後も働き続けられる雰囲気があること」が3割台となっている。



防災について

(1) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること

→ 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。
○は3つまで



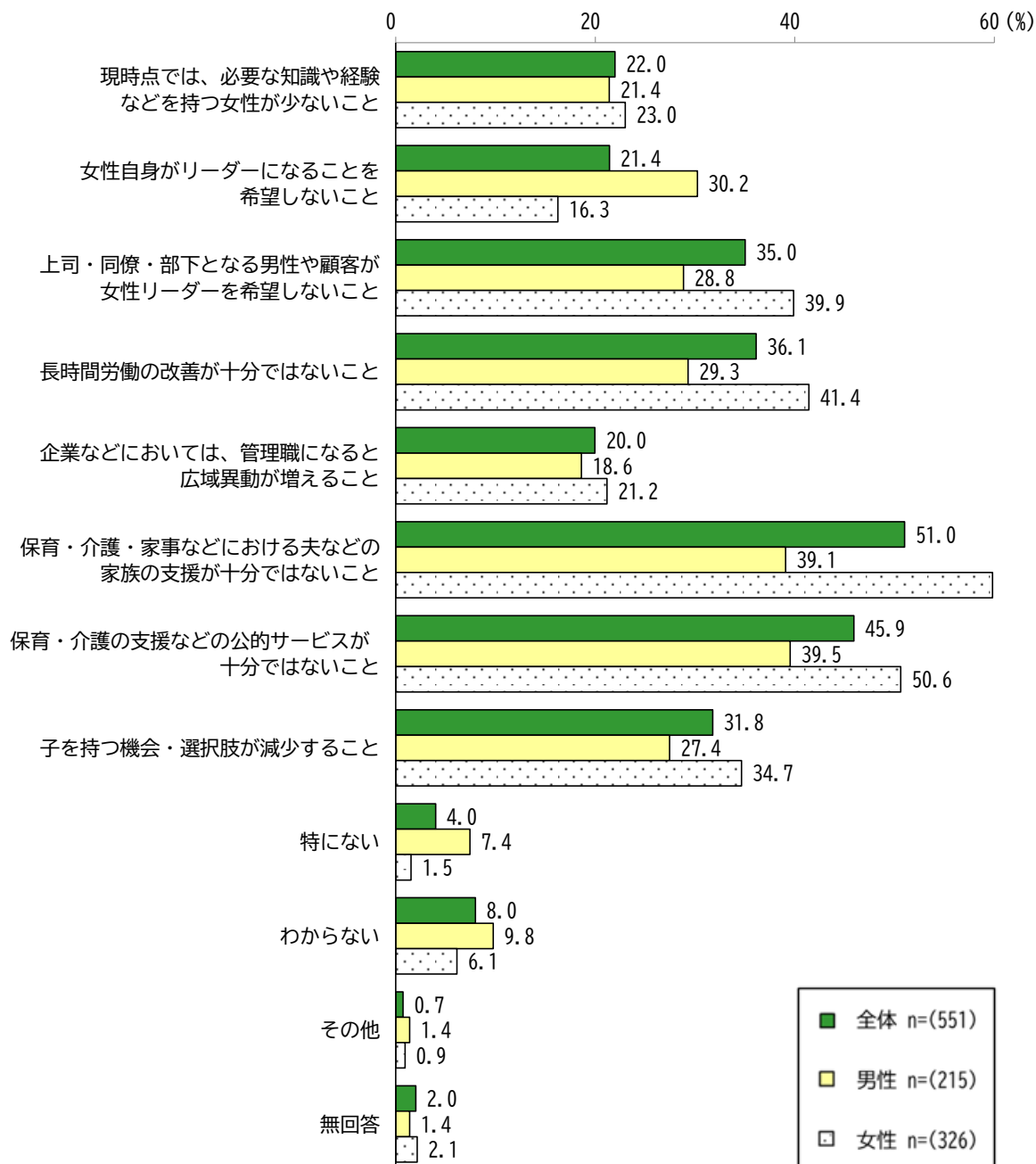
防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があることについて、「避難所に男女別のトイレや更衣室、授乳室を設置すること」が全体で約7割と最も多く、次いで「乳幼児、高齢者、障害者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること」が4割台となっている。

性別でみると、「被災者に対する相談窓口を設置すること」は男性で2割台、女性で1割台と男性が女性を上回っている。一方で、「避難スペースを世帯別、男女別に設けること」は男性で2割台、女性で3割台と、女性が男性を上回っている。

女性の活躍推進について

(1) 女性の活躍を進めるに際しての障害

→ あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。○はいくつでも



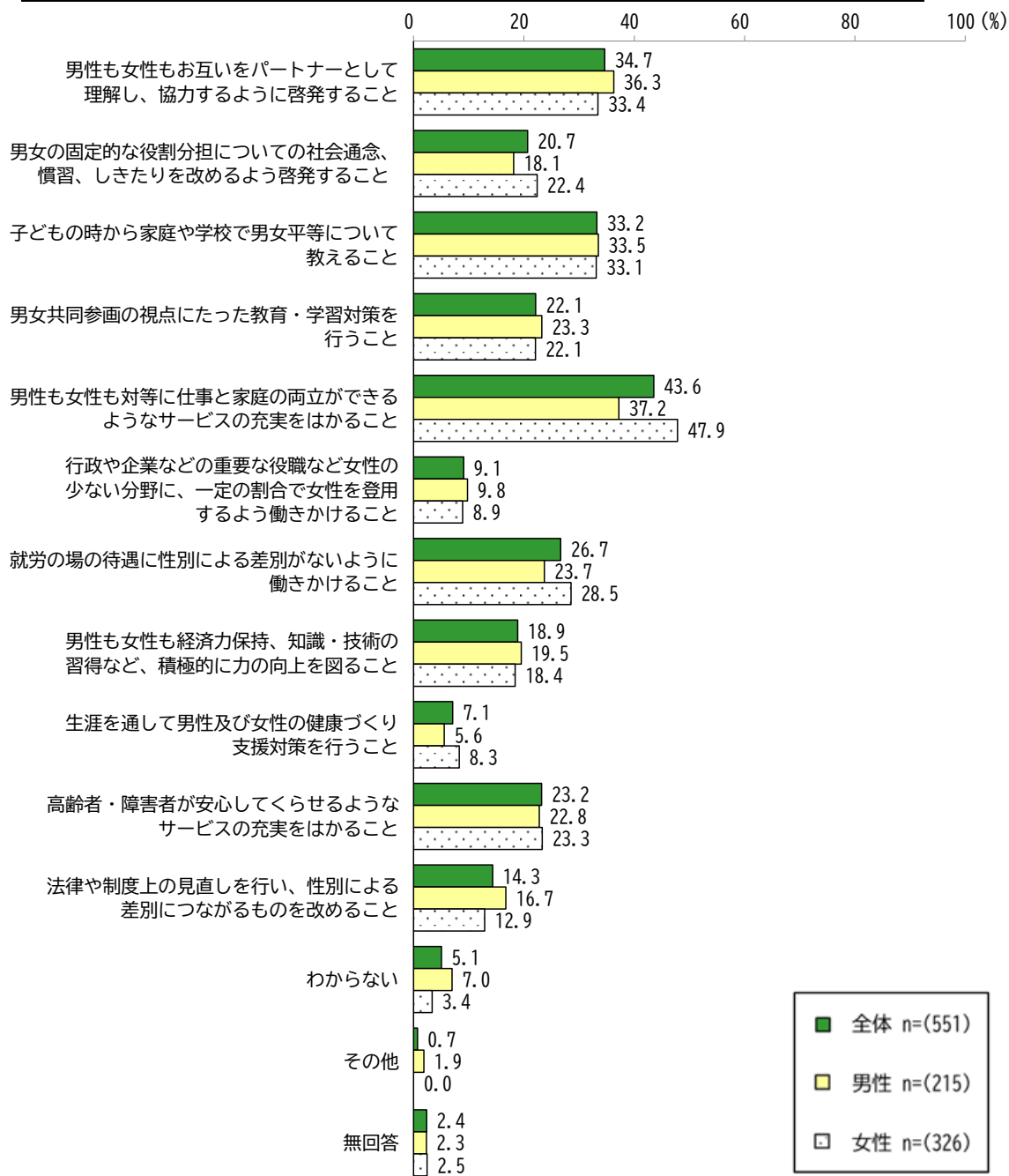
政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害になるものについて、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が全体で5割台と最も多く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が4割台となっている。

性別でみると「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」は男性で約4割、女性で約6割と、女性が男性を上回っている。

市の男女共同参画の推進に関する施策について

(1) 上尾市の施策について

→ 今後、男女がともに社会のあらゆる分野で積極的に参画するために上尾市としてどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。○は3つまで



市の男女共同参画の推進に関する施策で今後力を入れていくべきものについて、「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実をはかること」が全体で4割台と最も多く、次いで「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力するように啓発すること」が3割台となっている。

性別でみると「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実をはかること」は男性で3割台、女性で4割台と、女性が男性を上回っている。



【概要版】上尾市男女共同参画に関する市民意識・実態調査 報告書

令和7年3月

【編集・発行】上尾市 市民生活部 人権男女共同参画課
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話 048-775-5117（直通）

